

# 事業報告等-決算-

## (2020 年度)

1. (前年度) 事業報告
2. 貸借対照表
3. 正味財産増減計算書
4. 財産目録
5. 収支計算書

公益社団法人食品容器環境美化協会

## 2019年度事業報告

### 1 はじめに

当協会は、2019年度に、協議会として発足して47年目、法人化して38年目、公益社団法人として再発足して9年目を迎え、これまで積み上げられてきた事業実績を踏まえつつ、第6期中期計画の中間年度として、協会の設立目的を達成すべく諸事業を展開した。

#### (1) 会 員

会員は、2020年3月31日現在、コカ・コーラ協会、一般社団法人全国清涼飲料連合会、一般社団法人全国トマト工業会、一般社団法人日本果汁協会、日本コーヒー飲料協会、ビール酒造組合の6団体である。(別紙1のとおり)

#### (2) 役 員

役員は、2020年3月31日現在、理事9名（うち会長1名、専務理事1名）及び監事2名で、次のとおりである。(理事、監事、それぞれ50音順、敬称略)

会長	柴田暢雄	コカ・コーラ協会
理事	青木庸三	コカ・コーラ協会
理事	板垣武志	ビール酒造組合
理事	川村和彦	一般社団法人日本果汁協会
理事	河野敦夫	一般社団法人全国清涼飲料連合会
理事	佐野芳久	日本コーヒー飲料協会
理事	田辺義貴	一般財団法人食品産業センター
理事	堤 隆	一般社団法人全国トマト工業会
理事（専務）	山本景一	
監事	秋元敏紀	一般社団法人日本果汁協会
監事	綿田圭一	一般社団法人全国トマト工業会

## 2 各事業の執行状況報告

2019年度においては、海洋ごみ問題に対処して新たな事業を追加実施しつつ、引き続き、アダプト・プログラムの普及推進、環境美化実践教育支援、その他各種まち美化啓発活動を展開する等により、地方連絡会議の活動強化を図り、各般にわたる飲料容器の散乱防止対策を推進した。

各事業の執行状況は、次のとおりである。

### (1) アダプト・プログラムの普及推進

アダプト・プログラムは、行政と市民のパートナーシップで進める継続的なまち美化プログラムで、有効な散乱防止対策の一つである。

特別な助成制度を新たに実施して、海ごみ問題に対処しつつ、アダプト・プログラムの一層の普及・定着を図り、あわせて飲料業界がアダプト・プログラムの普及推進に努めていることの一般への浸透を図った。

#### 情報センターとしての機能強化

ホームページのほか、双方向での情報交換が可能な情報手段として Facebook(フェイスブック)ページを活用し、アダプト・プログラムに関する情報提供を行った。

また、自治体実務担当者を対象にワークショップを開催するとともに、導入自治体に対するアンケート調査を実施した。

なお、2020年2月現在、アンケート調査、自治体ホームページ等をもとに当協会が把握している導入地方自治体数は424であり、参加団体約47,000団体以上、活動者数約210万人である。

#### アダプト・プログラム助成制度の充実

##### ① アダプト・プログラム助成制度の継続実施

アダプト・プログラム活動団体を支援し、アダプト・プログラムの一層の奨励とその普及を図るため、「アダプト・プログラム助成制度」を引き続き実施した。

助成金コースのほか、清掃グッズ(ビブス、トング)を直接支給するコースの2つのコースで募集を行い、全国から、助成金コース154団体、清掃グッズコース48団体、申請コース不明2団体を含む総数204団体の応募があり、審査委員会で審査の上、助成金コース33団体、清掃グッズコース34団体、総数67団体に助成を行った。(別紙2助成実施団体一覧)

## ② 海洋ごみ問題対応特別助成の実施

公益財団法人日本財団の「海と日本 PROJECT」サポートプログラムによる支援を受けて、海、川、湖を活動場所とするアダプト・プログラム活動団体に対して、清掃グッズ（ビブス、タオル）支給による助成を行った。

ごみゼロ・ウィーク期間（5月30日～6月16日）、夏期（7、8月）、秋期（9、10月）の3期間に分けて、それぞれの期間で実際に活動を行う団体を対象に募集し、総数28団体から応募があり、24団体に対して助成を行った。（別紙3助成実施団体一覧）

### 地域における普及活動の強化

#### ① 地方のアダプト・プログラム教室等への講師派遣等

本年度は、以下の会議に出席し、アダプト・プログラムの説明や当協会の事業を紹介した。

2月1日 アダプトフォーラム in ひろしま青少年活動コンテスト

#### ② 地方環境イベントへの参画等

10月に富山市で開催された「とやま環境フェア」のほか、同月の新潟市「3R推進全国大会」及び12月の京都市「京都環境フェスティバル」に参画・出展し、アダプト・プログラムの紹介・普及に努めた。（別紙4 各地のイベント出展）

また、関係自治体等と、アダプト・プログラムの紹介、情報交換を行った。

## （2）環境美化実践教育支援

社会の持続可能性を高めるという観点から、次世代に向けた環境教育に取り組む姿勢が社会全般に一層高まっていることを背景に、環境美化教育優良校等表彰事業を引き続き実施するとともに、環境美化・リサイクル推進に関する有効な情報を教育現場に提供した。このような教育支援の事業を通じて飲料業界の容器散乱防止に対する積極的な姿勢を広く一般にアピールした。

### 第20回環境美化教育優良校等の表彰

公共の場所における環境美化や飲料空き容器等のリサイクルについて、実践的な教育を行い、地域の環境美化にも大きく寄与している小中学校等を対象とした環境美化教育優良校等表彰事業を、文部科学省、農林水産省、環境省の後援を得て実施した。

本年度は、各地方連絡会議を通して、全国35の都府県からの推薦に基づき、審査委員会での審査選考の結果、最優秀校4校、優秀校6校、優良校25校を決定し表彰

した。(別紙5 表彰校一覧)

最優秀校については、1月31日に浅草ビューホテルにおいて表彰伝達式を実施した。優秀校・優良校については、各地域で地方連絡会議より表彰状等の伝達を行った。

これらについてはホームページを通じて紹介をした。

各地域での表彰伝達については、全国新聞地域版4紙、地方新聞34紙、業界及び教育関係紙19紙、テレビ2局、インターネットWEBサイト60サイトで報道された。

#### 環境学習ノウハウの情報収集及び情報発信

- ① 第20回環境美化教育優良校等表彰事業による表彰校の環境美化の活動が広く知られ全国的な展開につながるよう、表彰校の活動内容を詳細に調査し、ホームページに掲載した。

また、最優秀校の取り組みが、書籍「海のプラスチックごみ調べ大事典」(旬報社)の中で紹介された。

- ② 当協会が小学校教員向けに編集した「資源になる!ごみから考える環境学習ガイドブック」について、全国小学校社会科研究協議会場などを活用して、関係者に配布した。

また、インターネット上の学習教材「まち美化キッズ」を引き続きホームページ上に提供し、前年度に続き安定的な多くのアクセスを得た。

- ③ 特別広報・調査費により、環境美化教育優良校等表彰事業において過去最優秀賞を受賞した学校のいくつかを取り上げて、その後の状況を調査し、概要をホームページに掲載した。

### (3) 散乱防止の啓発

飲料メーカー等の協力の下、統一美化マークを自動販売機等に貼付することを通じて散乱防止の呼びかけを行うとともに、地方連絡会議とも連携して、各種キャンペーンへの参加等により飲料空き容器のポイ捨て防止、散乱防止啓発活動を全国的に展開した。

#### 主要啓発活動

- ① 地方自治体の「ごみ減量化・環境美化推進協議会」等への参画・連携

地方自治体等の散乱防止啓発活動(美化キャンペーン等)に協賛・協力し、その一環として、キャンペーン用資材(ポケットティッシュ、ボールペン、トートバック、ハンドタオル、持ち帰り袋等)の配布を行った。

また、北海道及び埼玉県の環境ポスターコンクールに協賛・協力した。

② 地方自治体が主催する環境フェア等イベントへの参加・出展（再掲）

「とやま環境フェア」、「3R推進全国大会」、「京都環境フェスティバル」に出展し、当協会事業、地域のアダプト・プログラム普及状況の説明及び関連パンフレット、グッズの配布を行った。

③ 環境省・日本財団が主催する全国一斉清掃キャンペーンへの参加

「海ごみゼロウィーク」（5月30日～6月8日）に合わせて、江ノ島で行われたキックオフイベントほかの海岸清掃活動に参加した。

#### （4）広報活動及び情報収集・提供の充実

① ホームページによる情報発信に努め、各地のイベントへの参画、表彰活動等を、地方連絡会議の協力の下、トピックス方式で随時掲載したほか、「食環協ニュース」によりアダプト・プログラム助成団体及び環境美化教育の表彰校を紹介した。

② 喫緊の課題である海洋ごみ問題については、活動団体に対して協賛を行うとともに、全国清涼飲料連合会と勉強会を共催した。

また、G20関係閣僚会合を前に、4月に行われた原田義昭環境大臣と関係民間団体との意見交換会に出席し、アダプト・プログラム及び当協会の取り組みの説明を行ったほか、7月には「九都県市海洋プラスチックごみ問題意見交換会」において意見交換を行った。

なお、政府の「海洋プラスチックごみ対策アクションプラン」（5月31日関係閣僚会議）では、アダプト・プログラムが対策の一つとして掲げられるに至った。

#### （5）地方連絡会議

地方連絡会議のブロック会議（4か所）を開催するとともに、連絡体制を整備し、地方連絡会議の体制維持、諸活動の推進を図った。（別紙6 地方連絡会議ブロック会議一覧）

また、地方連絡会議の方々には環境美化教育優良校等表彰事業の優良校について各地域において表彰状の授与を行っていただいた。これらの様子はホームページに掲載した。

## (6) その他

経済産業省によるアルミ缶、スチール缶の識別表示マークの見直しに当たり、同省委託事業による検討委員会に参画するとともに、その円滑な施行に向け、当協会内の対応方針の共有化を図るとともに、見直しの内容につきホームページ等を通じて周知を図った。

### 3 管理運営事項の報告

#### (1) 理事会及び総会

理事会
-----

2019年

○5月8日（水）（定款第32条の規定により決議があったとみなされた日）

議案

第1号議案

2019年度事業計画及び収支予算の変更の件

第2号議案

2018年度事業報告及び附属明細書の承認に関する件並びに当該事業報告を2019年度通常総会に提出する件

第3号議案

2018年度正味財産増減計算書、貸借対照表及びこれらの附属明細書並びに財産目録の承認に関する件並びに当該正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録を2019年度通常総会に提出する件

第4号議案

「2019年度の会費の額及び徴収の方法について（案）」を2019年度通常総会に提出する件

第5号議案

「会計処理規程の改正について」を2019年度通常総会に提出する件

第6号議案

「役員候補の補選について」を2019年度通常総会に提出する件

第7号議案

「業務執行状況について」を2019年度通常総会に報告する件

○9月25日（木）（定款第32条の規定により決議があったとみなされた日）

議案

新事務局長の選任について

○10月30日（水）（第1回理事会）

場所 メルパーク東京「桂」

議案

業務執行状況について（報告）

2020年

○3月26日（木）（定款第32条の規定により決議があったとみなされた日）

議案

第1号議案

職員給与規程の改正に関する件

第2号議案

2020年度事業計画、収支予算及び「資金調達及び設備投資」の見込みの承認に関する件

第3号議案

2020年度通常総会の招集に関する件

第4号議案

業務執行状況について（報告）

総会

2019年

○5月27日（月） 通常総会

場所：メルパーク東京「楓」

議案

第1号議案

2018年度事業報告に関する件

第2号議案

2018年度貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録の承認に関する件

第3号議案

2019年度の会費の額及び徴収方法の決定に関する件

第4号議案

会計処理規程の改正について

第5号議案

役員の補選について

第6号議案

業務執行状況について（報告）



## (2) 運営委員会及び企画委員会

### 運営委員会

#### 2019年

- 4月24日(水) 第1回 於：食環協会議室
  - ・日本財団助成申請の結果について～2019年度事業計画及び収支予算の変更について～
  - ・5月みなし決議理事会及び通常総会提出資料について
  - ・その他
- 7月29日(月) 第2回 於：食環協会議室
  - ・業務執行状況について(報告)
  - ・会費の概算請求について
  - ・識別表示の見直し検討会及び食環協申し合わせの見直しについて
  - ・その他
- 10月30日(水) 第3回 於：メルパルク東京「桂」
  - ・国家公務員の人事院勧告を踏まえた対応について
  - ・識別表示の見直し検討会について
  - ・今後の予定について
- 12月5日(木) 第4回 於：食環協会議室
  - ・業務執行状況について
  - ・次年度予算について
  - ・その他

#### 2020年

- 1月31日(金) 第5回 於：食環協会議室
  - ・次年度予算について
  - ・アルミ缶、スチール缶識別表示マークの見直しについて
  - ・その他
- 3月10日(火) 第6回 於：食環協会議室
  - ・業務執行状況について
  - ・2020年度予算について
  - ・理事会提出議案について
  - ・アルミ缶、スチール缶識別表示マークの見直しについて
  - ・その他

## 企画委員会

2019年

- 4月25日(木) 第1回 於：食環協会議室
  - ・2019年度通常総会について
  - ・第20回環境美化教育優良校等表彰事業の日程及び推薦依頼について
  - ・2019年度アダプト・プログラム関係事業の状況について
  - ・海洋ごみ・プラスチックごみ問題について
  - ・その他
- 5月30日(木) 第2回 於：食環協会議室
  - ・第20回環境美化教育優良校等表彰事業について
  - ・2019年度地方連絡会議・ブロック会議について
  - ・2019年度地方連絡会議構成員名簿の更新について
  - ・海洋ごみ・プラスチックごみ問題について
  - ・その他
- 6月27日(木) 第3回 於：食環協会議室
  - ・第20回環境美化教育優良校等表彰事業の進捗について
  - ・2019年度地方連絡会議・ブロック会議について
  - ・2019年度アダプト・プログラム関係事業の状況について
  - ・海洋ごみ・プラスチックごみ問題について
  - ・その他
- 7月26日(金) 第4回 於：食環協会議室
  - ・第20回環境美化教育優良校等表彰事業の進捗について
  - ・2019年度地方連絡会議・ブロック会議について
  - ・2019年度アダプト・プログラム関係事業の状況について
  - ・海洋ごみ・プラスチックごみ問題について
  - ・その他
- 9月26日(木) 第5回 於：サッポロビール本社
  - ・第20回環境美化教育優良校等表彰事業の進捗について
  - ・2019年度アダプト・プログラム関係事業の状況について
  - ・識別表示の見直し検討会について
  - ・海洋ごみ・プラスチックごみ問題について
  - ・その他
- 10月24日(木) 第6回 於：食環協会議室
  - ・第20回環境美化教育優良校等表彰事業の進捗について
  - ・2019年度アダプト・プログラム関係事業の状況について
  - ・海洋ごみ・プラスチックごみ問題について
  - ・その他

- 11月21日(木) 第7回 於：食環協会議室
  - ・第20回環境美化教育優良校等表彰事業について
  - ・2019年度アダプト・プログラムについて
  - ・海洋ごみ・プラスチックごみ問題について
  - ・その他

## 2020年

- 1月30日(木) 第8回 於：食環協会議室
  - ・第20回環境美化教育優良校等表彰事業について
  - ・2020年度予算について
  - ・識別表示マーク(サイズ)の変更について
  - ・レジ袋の有料化について
  - ・海洋ごみ・プラスチックごみ問題について
  - ・その他
- 2月27日(木) 第9回 書面開催
  - ・識別表示の見直しについて
- 3月26日(木) 第10回 書面開催
  - ・2020年度予算、事業計画について
  - ・第20回及び第21回環境美化教育優良校等表彰事業について
  - ・2020年度ブロック会議について
  - ・識別表示マーク(サイズ)の変更について
  - ・海洋ごみ・プラスチックごみ問題について
  - ・その他

別紙 1

会員団体 (2020年3月31日現在)

(敬称略)

会 員 名	代 表 者	住 所
コカ・コーラ協会	会 長 佐々木康行	〒106-0032 東京都港区六本木 6-2-31 六本木ヒルズノースタワー3階 電話 03(5410)4521
一般社団法人 全国清涼飲料連合会	会 長 堀口 英樹	〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 2-9-2 PMO神田岩本町 2階 電話 03(6260)9260
一般社団法人 全国トマト工業会	会 長 寺田 直行	〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 15-18 ユニゾ小伝馬町ビル 3階 電話 03(3639)9666
一般社団法人 日本果汁協会	会長理事 川上 博志	〒105-0014 東京都港区芝 3-3-14 ニットクビル 6階 電話 03(6275)1761
日本コーヒー飲料協会	会長理事 高松 富也	〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 2-9-2 PMO神田岩本町 2階 一般社団法人全国清涼飲料連合会内 電話 03(6260)9257
ビール酒造組合	会 長 代表理事 西田英一郎	〒104-0061 東京都中央区銀座 1-16-7 銀座大栄ビル 10階 電話 03(3561)8386

## 別紙 2

### 2019年度アダプト・プログラム助成制度 助成団体一覧

#### 【助成金コース】

	団体名	アダプト・プログラム制度名	登録自治体／部署
1	愛のやまがた絆の会	山形県マイロードサポート事業	山形県県土整備部道路保全課
2	アダプトロード鳥飼 ひまわりグループ	アダプト・ロード・プログラム	大阪府都市整備部道路環境課
3	伊豆島田区	・リバーフレンドシップ制度 ・裾野市きれいなまちづくり推進事業	・静岡県河川企画課 ・裾野市戦略広報課
4	特定非営利活動法人エコけん	古賀市アダプト・プログラム	古賀市環境課
5	大阪府立枚方なぎさ高等学校	枚方市アダプト・プログラム	枚方市環境保全課
6	架け橋	みやぎスマイルリバー・プログラム	宮城県土木部河川課
7	川口市鳩ヶ谷辻自治会	川口市まち美化促進プログラム	川口市収集業務課
8	きらり健康生協きれいにし隊	ふくしまきれにし隊	福島市環境課
9	小石川後楽園周辺をきれいにする会	東京ふれあいロード・プログラム	東京都道路管理部路政課
10	古賀市花見防犯パトロール隊	古賀市アダプト・プログラム	古賀市環境課
11	ここ通学路	津島市公共施設の里親制度	津島市生活環境課
12	さしまスローライフ	川口市まち美化促進プログラム	川口市収集業務課
13	NPO法人自然と共生を考える会	リバーフレンドシップ制度	静岡県河川企画課
14	湘南鷹取のみどりと環境を守る会	横須賀市まちかど里親制度	横須賀市市民生活課
15	シルバー花木通清掃ボランティア	所沢市アダプト・プログラム	所沢市市民活動支援センター、 道路維持課
16	学校法人清徳学園 浜松啓陽高等学校	浜松市道路・河川里親制度	浜松市土木部道路保全課
17	千福が丘地域同好会	裾野市きれいなまちづくり推進事業	裾野市戦略広報課
18	Team JIN 「仁」 (呉市市民公益活動団体)	せとうち海援隊支援事業	広島県環境保全課
19	銅町自治会	山形県マイロードサポート事業	山形県県土整備部道路保全課
20	奈良をきれいにしよう会	奈良市アダプトプログラム推進事業 (さわやかクリーン奈良)	奈良市市民部地域づくり推進課
21	白馬村佐野区	河川愛護活動支援事業	長野県建設部河川課
22	はしもと里山保全アクションチーム	橋本市アダプト制度	橋本市建設部都市整備課
23	hana くずは 商店会	枚方市アダプト・プログラム	枚方市環境保全課
24	花まるボランティアクラブ	おおむら道路里親制度	大村市都市整備部道路課
25	はばたけ花畑の会	くるめクリーンパートナー	久留米市環境政策課
26	桧町町内会	山形県マイロードサポート事業	山形県県土整備部道路保全課
27	B.Bの会	アダプト・シーサイド・プログラム	大阪府都市整備部港湾局
28	枚方が好きやん ゴミ拾い部	枚方市アダプト・プログラム	枚方市環境保全課
29	ファインストーリーア団地自治会	稲城市公共施設アダプト制度	稲城市都市建設部土木課
30	社会福祉法人ほかにわ共和国デイ雲柿の木	県民参加の地域づくり事業	長崎県土木部河川課
31	マイロード「しおくび」	広島県アダプト制度	広島県道路河川管理課
32	向野町老人クラブ 喜寿会	高岡市環境美化協定	高岡市環境サービス課
33	森の里クリーンサークル	厚木市まち美化パートナー制度	厚木市生活環境課

【清掃グッズコース】

	団体名	アダプト・プログラム制度名	登録自治体／部署
1	伊藤機工株式会社	東海市アダプト・プログラム	東海市花と緑の推進課
2	勝村建設株式会社	山形県マイロードサポート事業	山形県県土整備部道路保全課
3	有限会社嘉村建設	出雲市美化サポートクラブ	出雲市環境政策課
4	北相之島区河川愛護会	河川愛護活動支援事業	長野県河川課
5	北久里浜まちづくり協議会	横須賀市まちかど里親制度	横須賀市市民生活課
6	一般社団法人岐阜土木工業会	岐阜版アダプト・プログラム”ぎふまち育て隊”	岐阜市市民活動交流センター
7	旧日本煉瓦上敷免工場西道路側面環境整備	深谷市アダプト制度	深谷市ガーデンシティふかや推進室
8	特定非営利活動法人グリーンラインを愛する会	広島県アダプト制度	広島県道路河川管理課
9	くるみの会	小松島市土木施設アダプト事業	小松島市都市整備課
10	郷原10区老人クラブ	広島県アダプト制度	広島県道路河川管理課
11	坂さ堀の会	伊勢崎市アダプトプログラム（環境美化協定）	伊勢崎市環境部環境保全課
12	株式会社三喜工業	県民参加の地域づくり事業	長崎県土木部河川課
13	しおごうFUN2クラブ	しずおかアダプト・ロード・プログラム	静岡県道路保全課
14	株式会社新庄輸送サービス 鮭川営業所	山形県マイロードサポート事業	山形県県土整備部道路保全課
15	セセラギの水辺クリーンの会	奈良市アダプトプログラム推進事業（さわやかクリーン奈良）	奈良市市民部地域づくり推進課
16	掃除の輪	寝屋川市地域が育む道路美化	寝屋川市道路交通課
17	大佛鉄道研究会	木津川市アダプト・プログラム	木津川市まち美化推進課
18	高田自治会連合会	岐阜版アダプト・プログラム”ぎふまち育て隊”	岐阜市市民活動交流センター
19	当尾の郷会館管理運営委員会	木津川市アダプト・プログラム	木津川市まち美化推進課
20	土尻川愛護組合	河川愛護活動支援事業	長野県河川課
21	株式会社長崎西部建設	県民参加の地域づくり事業	長崎県土木部河川課
22	忍辱山町自治会	奈良市アダプトプログラム推進事業（さわやかクリーン奈良）	奈良市市民部地域づくり推進課
23	ぬまづ観光ボランティアガイド	ぬまづまちピカ応援隊制度	沼津市地域自治課
24	ネットヨタ新大阪株式会社 枚方山之店	枚方市アダプト・プログラム	枚方市環境保全課
25	株式会社PAL構造	県民参加の地域づくり事業	長崎県土木部河川課
26	平根地区会	山形県マイロードサポート事業	山形県県土整備部道路保全課
27	笛吹みがこうプロジェクト実行委員会	笛吹市アダプト・プログラム	笛吹市環境推進課
28	富士通エフ・アイ・ビー・システムズ株式会社	東京ふれあいロード・プログラム	東京都道路管理部路政課
29	Bel sorriso	稲城市公共施設アダプト制度	稲城市都市建設部土木課
30	社会福祉法人ほかにわ共和国 障害者支援施設 八雲寮	県民参加の地域づくり事業	長崎県土木部河川課
31	北海土木工業株式会社	中央区道路環境美化活動（アダプト・プログラム）	札幌市中央区地域振興課
32	社会福祉法人HOP 障がい者支援施設ホップ	西区アダプト・プログラム	札幌市西区地域振興課
33	南紀寺町2丁目第2自治会	奈良市アダプトプログラム推進事業（さわやかクリーン奈良）	奈良市市民部地域づくり推進課
34	矢田工業株式会社	山形県マイロードサポート事業	山形県県土整備部道路保全課

## 別紙 3

## "CHANGE FOR THE BLUE"アダプト・プログラム特別助成

## 助成先団体一覧

## 【ごみゼロウィーク期】

	団体名	アダプト・プログラム名	登録自治体
1	滝戸リバーフレンド	リバーフレンドシップ制度	静岡県河川企画課
2	株式会社山陰ビデオシステム	中海アダプトプログラム	NPO法人中海再生プロジェクト
3	順天堂大学保健看護学部 大場川クリーンズ	リバーフレンドシップ制度	静岡県河川企画課

## 【夏期】

	団体名	アダプト・プログラム名	登録自治体
1	アイワ産業株式会社	広島県アダプト制度	広島県道路河川管理課
2	えがおグラウンド・ゴルフクラブ	広島県アダプト制度	広島県道路河川管理課
3	NSウエスト株式会社	広島県アダプト制度	広島県道路河川管理課
4	彼方まちづくりクラブ	アダプト・リバー・プログラム	大阪府都市整備部河川環境課
5	川井ホテルを育てカジカを守る会	広島県道路河川管理課 広島県アダプト制度	広島県道路河川管理課
6	川づくり21	浜松市道路・河川里親制度	静岡県浜松市河川課
7	河政建設株式会社	広島県アダプト制度	広島県道路河川管理課
8	高大基清会	アダプト・プログラム(道路等の里親制度)	佐賀県基山町住民生活課
9	スリーテック株式会社	みやぎスマイルポート・プログラム	宮城県土木部港湾課
10	せんだいアダプトオアシスプログラム 八幡同友会	せんだいアダプト・オアシス・プログラム	鹿児島県薩摩川内市建設部建設整備課
11	株式会社千代田工務店	広島県アダプト制度	広島県道路河川管理課
12	永田川カエル倶楽部	せとうち海援隊	広島県環境保全課
13	百久保霊園管理組合	山城うるおい水辺パートナーシップ事業	京都府山城南土木事務所企画調整担当
14	前田道路株式会社	広島県アダプト制度	広島県道路河川管理課
15	特定非営利活動法人夕なぎ 地域活動支援センター茶の間トミー	千葉県河川海岸アダプトプログラム	千葉県県土整備部河川環境課

## 【秋期】

	団体名	アダプト・プログラム名	登録自治体
1	株式会社平田組	広島県アダプト制度	広島県道路河川管理課
2	東花園自治会・あゆみ会	アダプト・リバー・プログラム	大阪府都市整備部河川環境課
3	高田川と共生する会	千葉県河川海岸アダプトプログラム	千葉県県土整備部河川環境課
4	ひがしなり わがまちくらぶ	アダプト・リバー・プログラム	大阪府都市整備部河川環境課
5	横路自治会	広島県アダプト制度	広島県道路河川管理課
6	チームみたらい湾・室積地区連合自治会	光市環境美化ボランティア・サポート事業	山口県光市市民部地域づくり推進課

## 別紙 4

### イベント出展等の状況について

#### ① 環境イベント等への出展

##### ◎第62回果汁技術研究発表会

日本果汁協会

9月20日（金）

ヤクルトホール（港区東新橋）

##### ◎とやま環境フェア2019

富山県

10月5日（土）、6日（日）

富山産業展示館（テクノホール）（富山市）

北陸地連と協働

来場者数 11,500人

##### ◎第14回3R推進全国大会

環境省、新潟市、3R活動推進フォーラム

10月29日（火）

朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター（新潟市）

訪問者 松木瑠美

参加者 400人

##### ◎京都環境フェスティバル2019

京都府

12月7日（土）、8日（日）

京都パルスプラザ（京都市）

京都府建設部と協働

入場者数 20,000人

#### ② 市町村等への訪問等

##### ◎広島県江田島市「永田川カエル倶楽部」

訪問日 8月10日（土）

訪問者 松木瑠美



◎山口県光市「チームみたらい湾」

訪問日 9月15日（日）

訪問者 松木瑠美

### ③ その他

◎自治体担当者とのワークショップ

開催日 11月26日（火）

参加者 自治体アダプト担当者

飯倉清太（内閣官房地域活性化伝道師）

◎広島青少年活動コンテスト

開催日 2月1日（土）

主催者 広島アダプト

参加者 広島県内のアダプト活動をしている小学校、中学校、高等学校

出席者 松木瑠美

## 別紙5

### 第20回環境美化教育優良校等表彰 表彰校一覧

#### 最優秀校 4校

文部科学大臣賞	高知県	高知市立青柳中学校 <small>あおやぎ</small>
農林水産大臣賞	岩手県	洋野町立角浜小学校 <small>ひろの かどのはま</small>
環境大臣賞	長野県	安曇野市立豊科南小学校 <small>あづみの とよしな</small>
協会会長賞	石川県	津幡町立条南小学校 <small>つばた じょうなん</small>

#### 優秀校 協会会長賞 6校

山形県	小国町立叶水小中学校 <small>おぐに かのみず</small>
新潟県	長岡市立川口小学校
福井県	あわら市北潟小学校 <small>きたがた</small>
奈良県	奈良市立月ヶ瀬中学校 <small>つきがせ</small>
山口県	光市立島田中学校 <small>ひかり しまた</small>
福岡県	田川市立伊田小学校 <small>たがわ いた</small>

#### 優良校 協会会長賞 25校

青森県	十和田市立下切田小学校 <small>しもきりだ</small>	宮城県	石巻市立石巻中学校
秋田県	大館市立成章中学校 <small>おおだて せいしょう</small>	福島県	いわき市立湯本第一中学校
茨城県	ひたちなか市立平磯中学校 <small>ひらいそ</small>	群馬県	館林市立多々良中学校 <small>たたら</small>
埼玉県	草加市立西町小学校 <small>にしちょう</small>	千葉県	市川市立新浜小学校
東京都	東村山市立東村山第六中学校	富山県	小矢部市立津沢中学校 <small>おやべ つざわ</small>
山梨県	甲州市立塩山北中学校 <small>えんざん</small>	岐阜県	岐阜市立岩野田北小学校 <small>いわのだ</small>
静岡県	沼津市立沼津高等学校中等部	愛知県	名古屋市立守山中学校 <small>もりやま</small>
三重県	四日市市立港中学校	大阪府	寝屋川市立第五中学校区 <small>ねやがわ</small>
兵庫県	西脇市立西脇中学校 <small>にしわき にしわき</small>	和歌山県	美浜町立松原小学校 <small>みはまちょうりつ</small>
徳島県	阿南市立吉井小学校 <small>あなん よしい</small>	愛媛県	松山市立拓南中学校 <small>たくなん</small>
佐賀県	多久市立東原摩舎東部校 <small>たく どうげんしょうしゃとうぶ</small>	長崎県	南島原市立有馬小学校 <small>みなみしまばら</small>
大分県	大分市立神崎小学校 <small>かんざき</small>	宮崎県	三股町立宮村小学校 <small>みまた みやむら</small>
鹿児島県	日置市立伊作田小学校 <small>ひおき いざくだ</small>		

## 別紙6

### 2019年度 地方連絡会議 ブロック会議開催状況

- 【共通議題】**
- ①食品容器環境美化協会 「食環協の概要・活動、地方連絡会議の役割」等
  - ②地方連絡会議 「地方連絡会議の取り組み」
  - ③全国清涼飲料連合会 成長続く清涼飲料業界の今と「環境課題」への取り組み
  - ④ビール酒造組合 ビール酒造組合の概要と環境への取組み
  - ⑤講演：J E A N 美しい海をこどもたちへ～プラスチックによる海洋汚染について～

#### 1. 北海道東北（北海道会場）ブロック会議

- (1) 開催日 7月2日（火）
- (2) 開催場所 TKPガーデンシティ札幌駅前
- (3) 登壇者
  - ①食品容器環境美化協会 事務局長 中邑 功
  - ②地方連絡会議 北海道地方連絡会議 皆川 和也 様
  - ③全国清涼飲料連合会 専務理事 河野 敦夫 様
  - ④ビール酒造組合 専務理事 板垣 武志 様
  - ⑤J E A N 事務局長・副代表理事 小島 あずさ 様

#### 2. 東海北陸近畿中四国（大阪会場）ブロック会議

- (1) 開催日 7月9日（火）
- (2) 開催場所 TKP 新大阪ビジネスセンター
- (3) 登壇者
  - ①食品容器環境美化協会 事務局長 中邑 功
  - ②地方連絡会議 徳島地方連絡会議 安藝 晋治 様
  - ③全国清涼飲料連合会 企画部長 石黒 隆 様
  - ④ビール酒造組合 審議役 樽岡 誠 様
  - ⑤J E A N 事務局長・副代表理事 小島 あずさ 様

#### 3. 中国四国九州沖縄（福岡会場）ブロック会議

- (1) 開催日 7月16日（火）
- (2) 開催場所 TKP 博多駅前シティセンター
- (3) 登壇者
  - ①食品容器環境美化協会 事務局長 中邑 功
  - ②地方連絡会議 宮崎地方連絡会議 柿原 章大 様
  - ③全国清涼飲料連合会 広報・自販機部長 前田 剛 様
  - ④ビール酒造組合 審議役 齋藤 哲哉 様
  - ⑤J E A N 事務局長・副代表理事 小島 あずさ 様

#### 4. 関東甲信越（東京会場）ブロック会議

- (1) 開催日 7月18日（木）
- (2) 開催場所 TKP東京駅セントラルカンファレンスセンター
- (3) 登壇者
  - ①食品容器環境美化協会 事務局長 中邑 功
  - ②地方連絡会議 茨城地方連絡会議 尾高 康幸 様
  - ③全国清涼飲料連合会 専務理事 河野 敦夫 様
  - ④ビール酒造組合 審議役 久保田 寛 様
  - ⑤J E A N 広報コミュニケーション担当 吉野 美子 様

# 貸借対照表

令和2年3月31日現在

公益社団法人食品容器環境美化協会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I. 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金	43,324	33,976	9,348
普通預金	37,572,639	31,577,758	5,994,881
前払費用	709,941	891,431	△ 181,490
流動資産合計	38,325,904	32,503,165	5,822,739
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	15,958,600	14,496,300	1,462,300
特別広報・調査実施準備引当資産	0	1,300,000	△ 1,300,000
特定資産合計	15,958,600	15,796,300	162,300
(2) その他固定資産			
什器備品	5	5	0
電話加入権	160,000	160,000	0
敷金・保証金	1,561,920	1,561,920	0
その他固定資産合計	1,721,925	1,721,925	0
固定資産合計	17,680,525	17,518,225	162,300
資産合計	56,006,429	50,021,390	5,985,039
<b>II. 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	5,189,195	1,358,151	3,831,044
預り金	329,960	232,728	97,232
流動負債合計	5,519,155	1,590,879	3,928,276
2. 固定負債			
退職給付引当金	15,958,600	14,496,300	1,462,300
固定負債合計	15,958,600	14,496,300	1,462,300
負債合計	21,477,755	16,087,179	5,390,576
<b>III. 正味財産の部</b>			
1. 一般正味財産	34,528,674	33,934,211	594,463
(うち基本財産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 0 )	( 1,300,000 )	( △ 1,300,000 )
正味財産合計	34,528,674	33,934,211	594,463
負債及び正味財産合計	56,006,429	50,021,390	5,985,039

# 正味財産増減計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
(1) 経常収益			
受取雑益	81,875,000	76,009,000	5,866,000
受取民間補助	8,270,000	0	8,270,000
受取雑益	585	570	15
経常収益計	90,145,585	76,009,570	14,136,015
(2) 経常費用			
役員報酬	77,484,471	69,893,216	7,591,255
役員料	7,200,000	7,200,000	0
臨時雇賃	14,589,398	14,166,890	422,508
退職給付	14,300	55,400	△ 41,100
法定福利	1,054,800	1,166,200	△ 111,400
旅費	2,160,460	2,065,284	95,176
通信費	1,353,144	1,852,524	△ 499,380
消耗什器備品	3,421,597	3,490,279	△ 68,682
消耗什器備品	36,288	32,832	3,456
印刷製本	1,984,797	2,319,608	△ 334,811
光熱製水	2,408,866	2,506,156	△ 97,290
光熱製水	230,452	227,202	3,250
借入金	4,583,718	4,408,292	175,426
諸謝金	7,392,271	7,600,395	△ 208,124
支払負担	2,096,524	2,222,890	△ 126,366
支払負担	2,663,846	2,403,262	260,584
委託費	21,279,207	16,757,959	4,521,248
雑費	1,868,803	1,418,043	450,760
補助金返還	3,146,000	0	3,146,000
管 理 費	12,066,651	12,873,860	△ 807,209
役員報酬	4,800,000	4,800,000	0
役員料	3,081,344	3,127,274	△ 45,930
臨時雇賃	0	41,552	△ 41,552
退職給付	407,500	618,500	△ 211,000
法定福利	1,068,701	1,037,396	31,305
旅費	120,650	208,183	△ 87,533
通信費	157,212	323,824	△ 166,612
消耗什器備品	11,942	302,114	△ 290,172
消耗什器備品	107,349	108,416	△ 1,067
印刷製本	9,072	8,208	864
光熱製水	50,675	72,723	△ 22,048
光熱製水	88,700	91,841	△ 3,141
借入金	57,613	56,801	812
諸謝金	1,145,930	1,102,072	43,858
支払負担	130,000	131,880	△ 1,880
支払負担	829,963	843,076	△ 13,113
経常費用計	89,551,122	82,767,076	6,784,046
当期経常増減額	594,463	△ 6,757,506	7,351,969
<b>2. 経常外増減の部</b>			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	594,463	△ 6,757,506	7,351,969
一般正味財産期首残高	33,934,211	40,691,717	△ 6,757,506
一般正味財産期末残高	34,528,674	33,934,211	594,463
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
<b>III 正味財産期末残高</b>	34,528,674	33,934,211	594,463

# 財 産 目 録

令和2年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金		運転資金として	43,324
	普通預金	三菱UFJ銀行新橋支店 みずほ銀行芝支店	運転資金として 運転資金として	5,598,424 31,974,215
	前払費用	前払家賃他		709,941
流 動 資 産 合 計				38,325,904
(固定資産)				
特定資産	退職給付引当資産	(普通預金) みずほ銀行 芝支店	職員2名に対する退職金の支払いに 備えた積立資産である。	10,496,718
		(定期預金) 三菱UFJ銀行 新橋支店		5,461,882
	特別広報・調査 実施準備引当資産	(普通預金) みずほ銀行 芝支店	ホームページの大幅改定及び特別の 調査事業に備えた、特定費用準備資 金である。	0
	特 定 資 産 合 計			15,958,600
その他の固 定資産	什器備品	金庫他	公益事業と管理運営のための共用財 産であり、80%を公益目的事業に 20%を管理運営の業に供している。	5
	電話加入権		公益事業と管理運営のための共用財 産であり、80%を公益目的事業に 20%を管理運営の業に供している。	160,000
	敷金・保証金	事務所保証金	公益事業と管理運営のための共用財 産であり、80%を公益目的事業に 20%を管理運営の業に供している。	1,561,920
	その他の固定資産 合 計			1,721,925
固 定 資 産 合 計				17,680,525
資 産 合 計				56,006,429
(流動負債)	未払金	事業未払金	公益目的事業の未払金である。	5,189,195
	預り金	源泉所得税他		329,960
流 動 負 債 合 計				5,519,155
(固定負債)	退職給付引当金		職員2名に対する退職金の支払いに 備えたものである。	15,958,600
固 定 負 債 合 計				15,958,600
負 債 合 計				21,477,755
正 味 財 産				34,528,674

(参考資料)

## 収 支 計 算 書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
<b>I 事業活動収支の部</b>				
<b>1.事業活動収入</b>				
会 費 収 入	81,674,000	81,875,000	201,000	
民 間 補 助 金 収 入	8,270,000	8,270,000	0	
雑 収 入	1,000	585	△ 415	
事業活動収入計	89,945,000	90,145,585	200,585	
<b>2.事業活動支出</b>				
事業費支出	81,212,000	73,283,671	△ 7,928,329	
アダプト・プログラムの普及 推進費支出	20,583,000	15,772,054	△ 4,810,946	
散乱防止啓発費支出	21,819,000	20,713,762	△ 1,105,238	
環境美化実践教育支援	15,604,000	14,925,302	△ 678,698	
地域実態に応じた啓発活動	6,215,000	5,788,460	△ 426,540	
広報活動の総合的強化費支出	5,965,000	5,710,645	△ 254,355	
広報活動の充実	4,765,000	4,478,703	△ 286,297	
散乱情報の収集・提供	1,200,000	1,231,942	31,942	
特別広報・調査費支出	1,300,000	1,300,000	0	
事業間接費支出	31,545,000	29,787,210	△ 1,757,790	
事業人件費支出	25,333,000	23,949,858	△ 1,383,142	
事業事務諸費支出	6,212,000	5,837,352	△ 374,648	
管理費支出	13,301,000	11,659,151	△ 1,641,849	
人件費支出	9,528,000	8,950,045	△ 577,955	
事務費支出	3,773,000	2,709,106	△ 1,063,894	
補助金返還金支出	0	3,146,000	3,146,000	
事業活動支出計	94,513,000	88,088,822	△ 6,424,178	
事業活動収支差額	△ 4,568,000	2,056,763	6,624,763	
<b>II 投資活動収支の部</b>				
<b>1.投資活動収入</b>				
特定資産取崩収入	1,400,000	1,300,000	△ 100,000	
退職給付引当資産取崩収入	100,000	0	△ 100,000	
特別広報・調査事業準備引当資産取崩収入	1,300,000	1,300,000	0	
投資活動収入計	1,400,000	1,300,000	△ 100,000	
<b>2.投資活動支出</b>				
特定資産取得支出	1,444,000	1,462,300	18,300	
退職給付引当資産取得支出	1,444,000	1,462,300	18,300	
投資活動支出計	1,444,000	1,462,300	18,300	
投資活動収支差額	△ 44,000	△ 162,300	△ 118,300	

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
<b>Ⅲ 財 務 活 動 収 支 の 部</b>				
1.財 務 活 動 収 入				
財 務 活 動 収 入 計	0	0	0	
2.財 務 活 動 支 出				
財 務 活 動 支 出 計	0	0	0	
財 務 活 動 収 支 差 額	0	0	0	
<b>Ⅳ 予 備 費 支 出</b>	0		0	
当 期 収 支 差 額	△ 4,612,000	1,894,463	6,506,463	
前 期 繰 越 収 支 差 額	30,912,286	30,912,286	0	
次 期 繰 越 収 支 差 額	26,300,286	32,806,749	6,506,463	

### 収支計算書に対する注記

(注) 1. 資金の範囲

資金の範囲には現金預金・未収金・前払費用・未払金及び預り金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現 金	33,976	43,324
普 通 預 金	31,577,758	37,572,639
前 払 費 用	891,431	709,941
合 計	32,503,165	38,325,904
未 払 金	1,358,151	5,189,195
預 り 金	232,728	329,960
合 計	1,590,879	5,519,155
次 期 繰 越 収 支 差 額	30,912,286	32,806,749